

★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

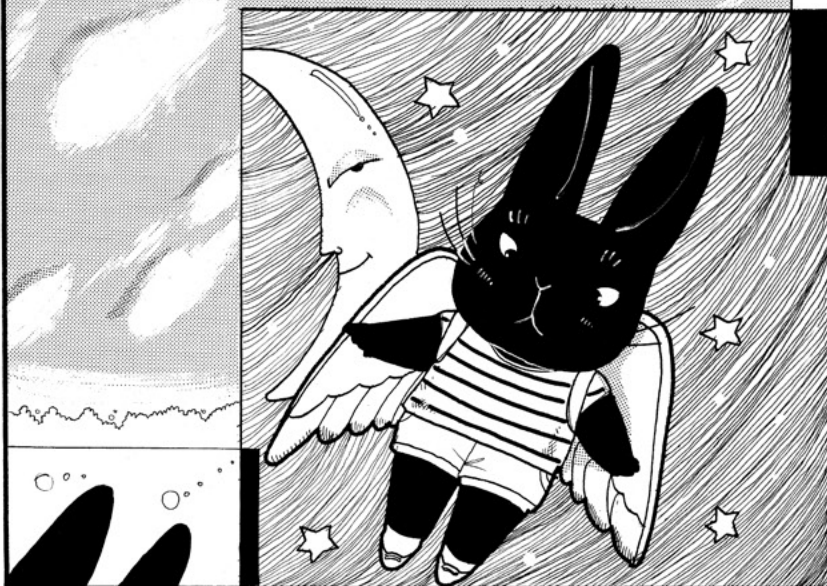
※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

おちた少年

しょうねん

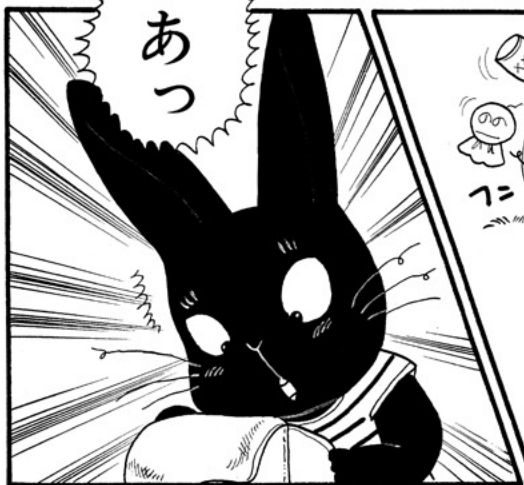
第3話 デジャブー



なか お けい
仲尾佳



夏のおわりに
さからうように
南風が吹いてきた



あつ



ンモ
あいかわらず
ガラクタ
ばっかりだなア



よいせつと!



リユツクの中から
さわさわと
南風が吹いてくる

底には
星が見えた



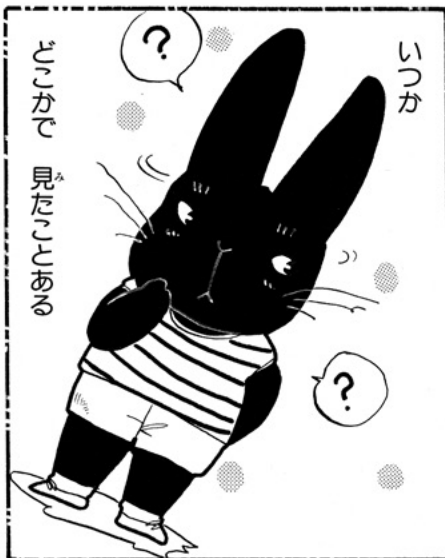
なにかな



とーだ



いっ...今まで
ずーっと
気がつか
なかったんだ!



どこかで
見たことある

いつか



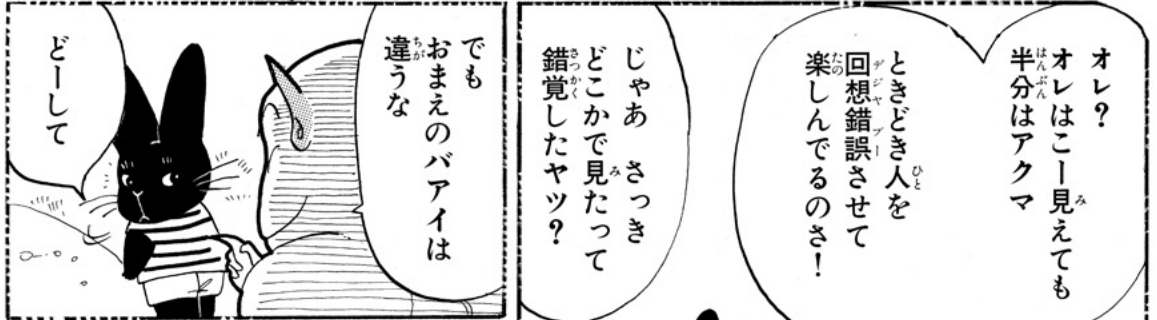
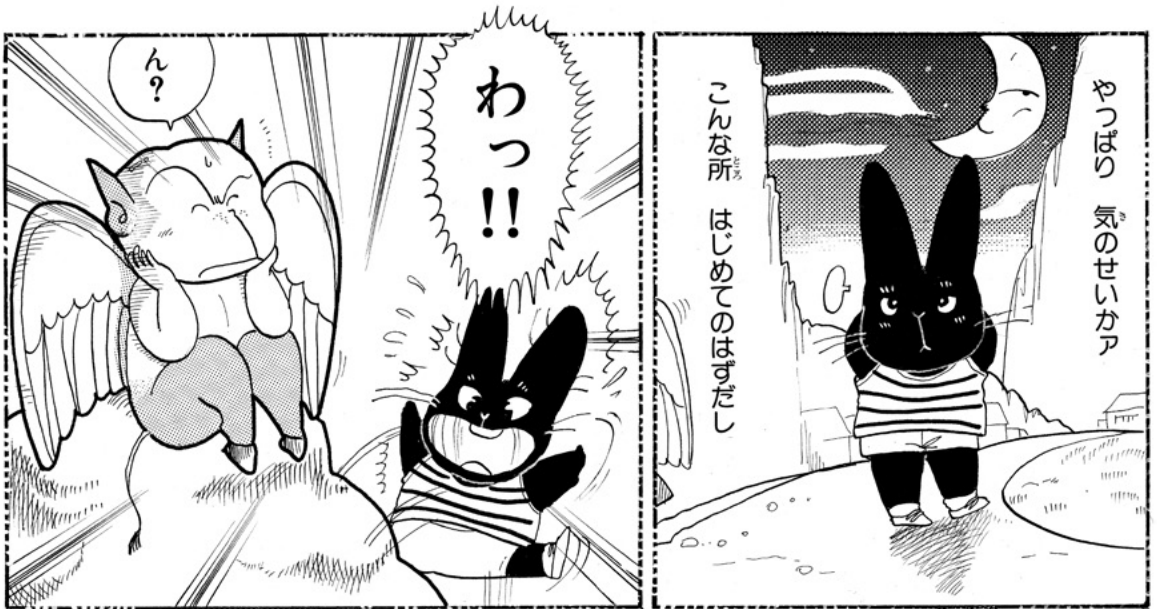
この場所!!

あ...あれえ

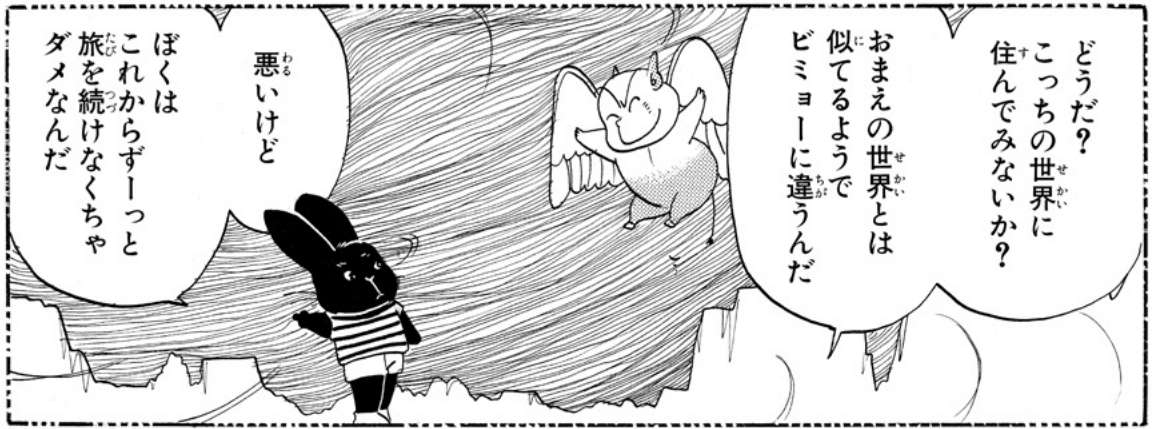


ほー

!?





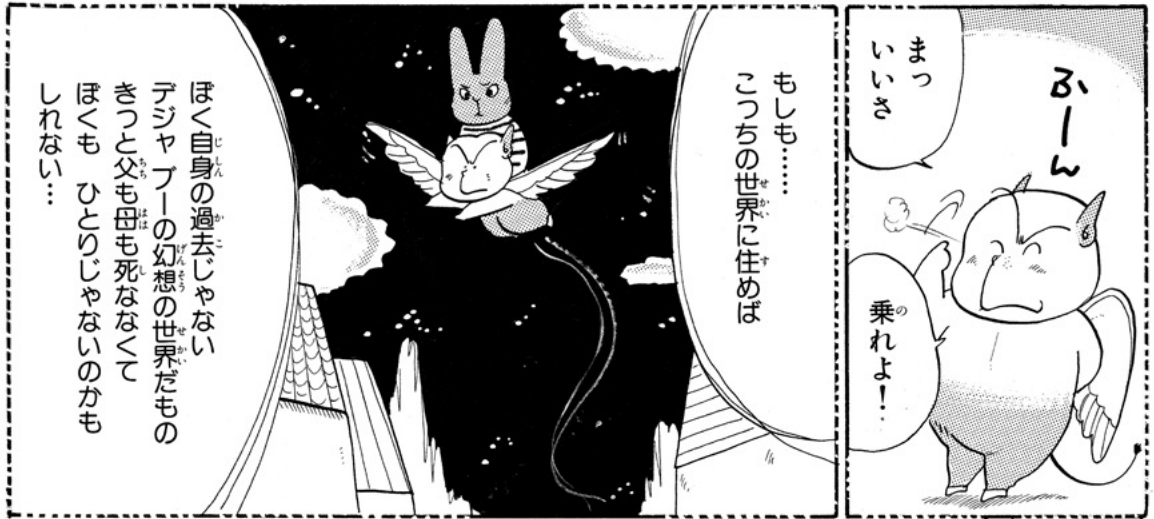


どうだ？
こっちの世界に
住んでみないか？

おまえの世界とは
似てるようで
ビミョーに違うんだ

悪いけど

ぼくは
これからずーっと
旅を続けなくちゃ
ダメなんだ



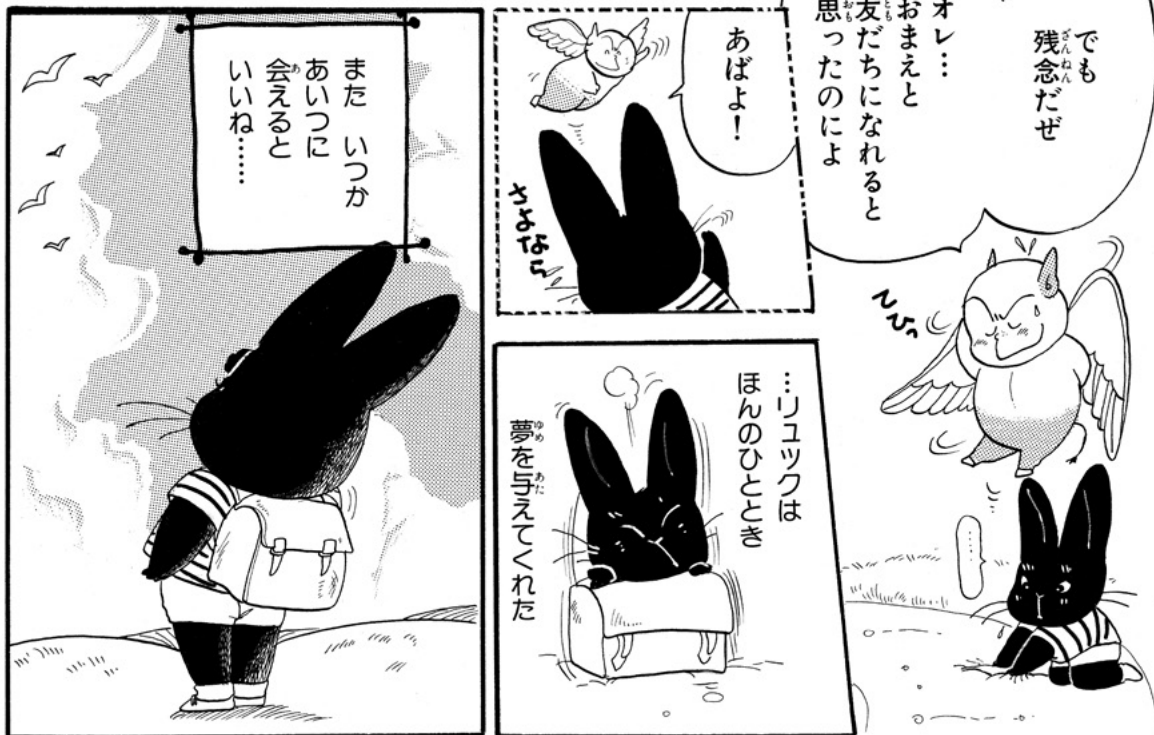
まっ
いいさ

ふーん

乗れよ！

もしも……
こっちの世界に住めば

ぼく自身の過去じゃない
デジャブーの幻想の世界だもの
きつと父も母も死ななくて
ぼくも ひとりのじゃないのかも
しれない……



でも
残念だぜ

オレ……
おまえと
友だちになれると
思ったのによ

あばよ！

さよなら

また いつか
あいつに
会えると
いいね……

……リュツフは
ほんのひととき

夢を
与えてくれた